

授業参観の印象

- 自然体の子どもが見られた。どのクラスも子どもが楽しそう。
思ったより中学と変わらない。
- 全体的に教室がきれい。子どもの居場所ができていると感じる。
建物がきれいで嬉しかった。
(鉛筆の長さや上履きを見ると、親が子を見ているかどうか分かる、という意見も)
- 絵は、学年ごとに個性を出して成長している。
- 名前を呼んでくれる子どももいて、ありがたい。自分の小さい頃にはなかった。

家庭・地域・学校の連携について

- 学校は地域の応援団。日頃から連絡を密にして信頼関係を築くことが必要。
- 大事なことは、家庭・学校・地域をつなげること
家庭の教育力と地域の教育力をうまく活用できれば
- 家庭・地域・学校で朝の登校指導を活性化させると、防犯につながる。
また、地域の目はいじめ防止にもつながる。
- 共働き家庭が多くなっている。子どもとの接点を増やすことが一つの解決策。
子どもと一緒に同じ時間をすこしでも共有したい。あいさつ、共に学ぶなど。
- 環境がいいことが大切。環境が変になると危ないことが起きる。
子どもも自分を守るすべを教育したほうがいい（学校と家庭で）
- 子どもの安心安全が全国的に見直されている。
保護者は忙しく手が回らないが、安全には代えられない。
縦のつながりを大切にして、皆で地域を意識することが大切。
- ヤギなどの目標物を介して、地域とつながっていけばどうか。
子どもはヤギを可愛がることで動物愛護の精神が育つ。大人はヤギを見て心が癒される。

スクールカウンセラー堀先生、さわやか相談員桐生先生

- スクールカウンセラーは年20回来校、心理学が専門
主に保護者の子育てに関する相談を受けている。(子どもの相談を受けることも)
空いている時間は子どもの様子を見に行く
- さわやか相談員：小学校は月1回来校
通常は第二東中学校で勤務。小・中で役割は違う。
教室に行けない子への対応の他、毎日相談が来る。
子育て、発達に関する悩みをスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにつなげる。

いじめについて

- 学校の指導が行き届いているが、学童ではたがが外れることもある。
上級生にとってたいしたことがなくても、下級生にとっては大きいこと。
- チャレンジの中でも、ふざけがいじめになる可能性がある。見極めなくてはいけない。
以前は怒るのが当たり前だったが、今は話し合い。
低・中・高が、自分の発達段階に応じて自分たちなりに考えていくことが大切。
- 早期発見が重要。
芝川小は保健室が欠席状況を毎日報告。つぶさに反映すれば素早く対応できる。
どの学校でもやっているわけではない。きめ細やかに共有していると感じた。
- いじめは自分の小さい時にはあまりなかったように思う。
元気に登校できるように応援していきたい。
- 色々な人の見方を大切にし、一人ひとりを改めて大切にする気持ちを持ちたい。
子どもが将来「芝川でよかった」と言えるように